秀峰通信『啐啄』

No１９　　平成２３年８月８日（月）

祝！　初優勝　男子ハンドボール　北東北高校総体・・・感動をありがとう！

○３日（水）午後、岩手県花巻市で開催された高校総体で、本校ハンドボール部が、念願の全国制覇を果たしました。あいさつ、マナーなど「日本一の人間力」を培ってきた生徒たちならば、全国優勝できると信じていました。その生徒たちが、競技力でも「日本一」になったことを何より嬉しく思っています。この優勝も保護者・家族・地域の人々、周りの多くの人々の支援や応援があってこそ達成できたものと思います。生徒たちも「感謝」の気持ちで一杯のようでした。・・・「実った学校、地域の連携」、「応援のおかげ」、「市民に元気」という新聞の見出しがとても印象的でした。多くの人々に喜んでもらえました。

主将が初優勝の報告　出迎えセレモニー

＜優勝までの戦績＞　　「最高の仲間　一生の宝に」「プレーで恩返し」「破己立命」

１回戦　５１：　７　松江工業（島根県）

２回戦　３１：２４　北陸高校（福井県）　　３回戦　３５：２８　駿台甲府（山梨県）

準々決勝３２：２０　国學院栃木（栃木県）　準決勝　２７：２１　下松工業（山口県）

決　勝　３０：２４　藤代紫水（茨城県）　＜１７－７、１３－１７＞

「破己立命（はきりつめい）」・・・本校男子ハンドボール部監督のポリシー

○『大勢の人と関わる中、自ら考えて動くことで、己の殻が破られる。』という意味だそうです。

新体操団体　堂々の４位・・・今年も全国のファンに大きな感動を与えました。

校長室にて大会の報告

○次の新聞の記事が、本校新体操部の素晴らしさを物語っています。部活動で「日本一の人間力」が培われています。

全国制覇を逃した小林秀峰の真価は閉会式で発揮された。4位の悔しさを胸にしまい、 胸を張って堂々と行進。40分間の式典中、ずっと背筋を伸ばしていすに座り、凛(りん)とし た表情を浮かべた。他チームをしのぐ立ち居振る舞いに、永野護監督は、「徹底的に指導してきた礼儀作法が身に付いていた。負けて残念だけど、 うちの良さが出ていた。」 と誇らしげだった。

☆秀峰生は、「日本一」になれる資質をみんなが持っています。

☆今回の男子ハンドボール部、新体操部の活躍は、全校生徒に「自信と誇り」を持たせるものになったと思います。この機会に、もっと一人ひとりが、お互いに切磋琢磨し、自己を高めていく雰囲気を醸成していきたいものです。「日本一」の学校の生徒として、さらなる充実した高校生活を期待します。

市役所の横断幕　初優勝

市長さんと笑顔の記念撮影

商工会議所の垂れ幕　全国制覇

☆ハンドボール部関係の写真をＨＰの秀峰の歩み「４才の歩み」のアルバムに掲載中です。

小林市内のあちこちに、横断幕や垂れ幕、看板が掲げられています。ハンドボール部が日頃、朝と昼の食事のお世話になっている市場食堂内にも右の表示がありました。感謝致します。

おもしろか！がんばらんば！考えてわかる算数・数学教育：九州算数・数学教育研究大会

〇長崎大会に参加し、公開授業を参観してきました。その一つ、県立長崎西高校１年（男子２０名、女子２０名）のスーパーサイエンス（ＳＳＨ事業の一環で、「総合的な学習の時間」の代替として、独自に設定している科目）の「発展数学ゼミ」（論理的思考力の養成と、プレゼンテーション能力の向上を目的とした授業で、数学を題材にしてゼミ形式で生徒同士が議論し合う形式をとっている。）の授業紹介します。数学だけでなく、他の教科でも大いに参考になるのではと思います。

模型を使ってみんなで考える	＜授業内容・形態等＞ ・正十二面体の外接球の直径を求める ・班別学習　・班の解法を発表 ・模型を使って考えさせる。 ・いろいろな考え方が出る。 ・使う定理等は、三角形の相似、二次方程式、三平方の定理で、中学校の内容だけで処理できる	班で考えた解法を発表する

生徒たちは、一生懸命に意見を出し合いながら、集中して考え、解けたことに感動していました。指導する側の綿密な準備と教具などの工夫も要求されます。しかし、ときには、このような形態の授業を行なうことで、生徒たちに興味関心を起こさせ、基礎学力を付けることに結び付けられればと思います。本校で現在取り組んでいる、授業改善において、取り組んでみてはどうでしょうか。

「心を整える」・・・勝利をたぐり寄せるための５６の習慣　＜長谷部　誠　著＞

〇「なでしこジャパン」が、ワールドカップで優勝したので、その監督の佐々木則夫氏の本を読んでみようと思い、書店に行きました。しかし、残念ながら在庫がありませんでした。そこで、現在ベストセラー中の男子サッカーの長谷部選手の本と長友佑都選手の本を購入し、読んでいるところです。

心は鍛えるものではなく、整えるもの。

いかなる時も安定した心を備えることが、常に力と結果を出せる秘訣だ。

５６の習慣の中の幾つかを紹介しておきます。詳しい内容については、ぜひ、読んでみてください。

・整理整頓は心の掃除に通じる。	・読書は自分の考えを進化させてくれる。
・遅刻が努力を無駄にする。	・迷ったときこそ、難しい道を選ぶ。
・外見は自分だけのものではない。	・感謝は自分の成長につながる。

インターアクト年次大会が開催・・・６日（土）都城市「今、私たちにできること」大震災から

本校生が新加入の報告	〇本校ボランティア同好会（３６名）は、本年度より、小林ロータリー管轄のインターアクト活動に参加することになりました。そのため都城市で開催された 2730 地区（宮崎県１０校、鹿児島県１１校合計１４１名の生徒と先生・関係者合計２０７名）の年次大会に、3 名の生徒が参加し、活動報告や講演会、グループ討議に参加し、各校の情報交換を行ないました。各学校、ワクチン接種のためのペットボトルのキャップ回収、校内外の清掃活動、施設でのボランティア、地域の行事の手伝い等、みんな頑張っているようでした。

本年度加入した本校も、今後、活発な活動を行なうことを話しました。本校生が様々な活動を通して、地元に日頃の「恩返し」ができるとともに、将来の地域のリーダーとなる生徒が育つことを期待します。

「名水まつり」での優勝報告会	優勝特設コーナー　写真等展示	まつりで本校生がボランティア

本校の初優勝を多くの地域の方々が「感動と夢と元気」を与えてくれたと喜んでくださっていました。